

Town Gallery



恩原高原氷紋まつり(1月26～27日)

恩原高原スキー場で「第16回氷紋まつり」が2日間にわたって開催され、県内外から家族連れら約8000人が詰めかけ、雪遊びや花火などの多彩なイベントを楽しみました。

開催前には雪不足が心配されましたが、連日の大雪で当日の積雪は1メートルを超えました。会場となったパノラマゲレンデ前には、町職員や地元の方々が3日かかりで仕上げた高さ7メートルの像「お花畑の妖精」や、今年の干支にちなんだネズミの滑り台などのオブジェが並びました。

新雪に覆われたスキー場は最高のコンディションとなり、待ち望んだスキーヤーやスノーボーダーで賑わいを見せていました。また、ジャグリングショーやアカベラライブ、鏡野ソーラン踊りなどのステージショーもお祭りに花を添え、地域の特産品が並ぶ屋台村には行列ができていました。日没後は約5100発の花火とレーザーによる光のショーが夜空を美しく彩り、歓声があがりました。

2日目には宝探しやそり大会、雪合戦などの参加型イベントが催され、家族連れの楽しそうな声がゲレンデにこだましました。



博物館体験講座で天神様作り(2月16日)

ペスタロッツ館体験学習室で、博物館体験講座「天神様作り」が行われました。

美作地方では、昔はひな祭りの時に、男の子のために土で作った「泥天神」を飾っていました。今回は、参加した町内及び津山市の小学4年生～6年生の児童に、天神様の風習を説明し、実際に自分たちのオリジナルの天神様を作りました。子供達は模様や色にこだわり、カラフルな衣装やいろいろな表情をした天神様が次々と完成しました。



全日本新体操チャイルド選手権出場壮行式(2月15日)

2月22日～24日に東京体育館で開催された第10回全日本新体操チャイルド選手権に出場する住吉麻生ちゃん(南小)と山王七汐ちゃん(南小)に、山崎町長から激励金が手渡されました。



日本新体操チャイルド選手権出場壮行

